

男女共同参画推進に関する市民意識調査

★ ご協力をお願い ★

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

小平市では、「小平市男女共同参画推進条例」（平成20年10月1日制定）に基づき、「小平市男女共同参画推進計画（小平アクティブプラン21）」を策定し、男女が自分らしくいきいきと暮らす社会の実現をめざして取り組んでまいりました。

新たな「(仮称)第四次小平市男女共同参画推進計画（小平アクティブプラン21）」の策定にあたり、市民の皆様の男女共同参画推進に関する意識や実態を把握し、今後の施策に反映することを目的として、調査を実施することといたしました。

この調査は小平市にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、お願いしております。回答は無記名であり、お答えいただいた内容はすべて統計的に処理し、集計分析のみに使用いたしますので、皆様のプライバシーが公表されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

結果の公表は令和3年2月を予定しています。

令和2年9月

小平市長 小林 正則

【ご記入にあたってのお願い】

- ① 調査票・返信用封筒にお名前やご住所を書いていただく必要はございません。
- ② 封筒の宛名のご本人がお答えください。
- ③ 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ④ 質問によって、○をつける数を（1つ）（いくつでも）などと指定しておりますので、その内容に従って、お答えくださいますようお願いいたします。
- ⑤ 質問によって、回答していただく方が限られる場合がありますので、⇒（矢印）や【色がけ】の内容に従って、お答えくださいますようお願いいたします。
- ⑥ この調査票をご記入いただきましたら、同封の返信用封筒で **9月28日（月）まで** にご投函ください。（切手不要）。



こだいらマスコットキャラクター
『ぶるべー』

※この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

小平市 地域振興部 市民協働・男女参画推進課

電話 042-346-9618（直通）

e-mail : kyodo-danjo@city.kodaira.lg.jp

男女共同参画推進に関する市民意識調査票

I 男女共同参画意識についておたずねします

問1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはごどう思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は1つ)

1 賛成	3 どちらかといえば反対	5 わからない
2 どちらかといえば賛成	4 反対	

問2 あなたは次の①～⑧にあげる分野で男女の立場が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	男性の方が優遇 されている	どちらかといえば 男性の方が優遇 されている	男女の立場は平等 になっている	どちらかといえば 女性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育	1	2	3	4	5	6
④ 地域活動(自治会、PTAなど)	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体	1	2	3	4	5	6

Ⅱ 家事・育児・介護についておたずねします

問3 あなたのご家庭の家事・育児・介護の役割分担について、(1)理想、(2)現状にあてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	(1)理想 (○は1つ)	(2)現状 (○は1つ)
① 男性が仕事、女性が家事・育児・介護を分担する	1	1
② 女性が仕事、男性が家事・育児・介護を分担する	2	2
③ 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護は主に女性が分担する	3	3
④ 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護も携わる時間を平等に分担する	4	4
⑤ 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護も役割を平等に分担する	5	5
⑥ 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護は主に男性が分担する	6	6
⑦ 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はなるべく家事・育児・介護サービスを利用する	7	7
⑧ 上記のどれにもあてはまらない	8	8
⑨ わからない	9	9

問4 あなたが家事・育児・介護に携わる1日あたりの平均的な時間について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は①平日、②休日それぞれ1つ)

家事育児介護時間、どのくらいかけているかな?



	0~ 15分 未満	15~ 30分 未満	30分~ 1時間 未満	1~ 2時間 未満	2~ 3時間 未満	3~ 5時間 未満	5~ 7時間 未満	7~ 8時間 未満	8時間 以上
① 平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
② 休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問5 あなたは、男性が家事、育児、介護を積極的に行うためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- 2 子どもの頃から、男女平等意識を教育や生活の中にとりいれること
- 3 社会の中で、男性が家事・育児・介護に関わることについて、評価を高めること
- 4 男性による家事・育児・介護について、職場における上司や周囲の理解を進めること
- 5 働き方改革により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 6 男性が家事・育児・介護を行うことに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 7 男性が家事・育児・介護を行うことに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 8 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
- 9 男性が家事・育児・介護を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること
- 10 男性の家事・育児・介護について、啓発や情報提供、相談窓口の設置、講座などを行うこと
- 11 その他(具体的に)
- 12 特にない

Ⅲ 地域活動・防災についておたずねします

問6 地域活動についておたずねします。あなたの(1)現在の活動と、(2)今後の活動意向について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも)

	(1)現在の活動 (○はいくつでも)	(2)今後行いたい活動 (○はいくつでも)
① 子ども会やPTAなどの子どもに関わる活動	1	1
② 自治会、商店会、商工会などの活動	2	2
③ 仕事でつちかった知識や経験を活かした活動	3	3
④ 趣味、スポーツ、習い事	4	4
⑤ 自己啓発のための学習活動	5	5
⑥ 附属機関やその他委員会などの行政の委員会	6	6
⑦ NPO活動やボランティア活動への参加	7	7
⑧ 防犯協会活動や自主防災組織など防犯や防災に関する活動	8	8
⑨ その他(具体的に)	9	9
⑩ 行っている(行いたい)活動はない	10	10

問7 男性も女性も地域活動に参加しやすくするためには、どのような環境や条件が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 地域活動に参加できる時間のゆとりがある	6 地域活動に使える場所や施設がある
2 地域活動をする経済的なゆとりがある	7 地域活動について情報を得ることができる
3 地域活動が仕事や家庭生活と両立できる 曜日や時間で設定されている	8 地域活動をすることについて家族など周囲の理解がある
4 一緒に活動できる仲間がいる	9 その他(具体的に)
5 地域に興味のある活動団体がある	10 わからない

問8 近年大規模災害による避難所運営において女性への配慮がなされず、防災対策にて男女共同参画の視点を取り入れるべきといわれております。このことについてどのような取組が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 市の防災会議や災害対策本部に女性の委員・職員を増やす
2 性別に偏ることなく、防災活動や訓練、避難所の運営に参画する
3 備蓄品について女性やさまざまな困難をかかえる人の視点を入れる
4 「避難所運営マニュアル」などをつくり、誰もが安全に過ごせるようにする
5 防災や災害現場で活躍する女性のリーダーを育成する
6 日頃からのコミュニケーション、地域でのつながりを大切にする
7 日頃から男女平等、男女共同参画意識を高める
8 その他(具体的に)
9 わからない

IV 仕事についておたずねします

問9 あなたは、この1か月間で収入を得る仕事をしましたか。(〇は1つ)
※産休、育休、介護休業中の人は「1 仕事をした」に〇をつけてください。

1 仕事をした

2 仕事をしていない ⇒【問9-2にお進みください】

【問9で「1 仕事をした」と答えた方におたずねします】

問9-1 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、性別によりちがいがあると感じられることがありますか。あてはまる番号すべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 性別により賃金、昇給や昇進、昇格の評価にちがいがある | 7 性別により長時間労働、サービス残業、休日出勤にちがいがある |
| 2 性別により配置場所が限られている | 8 教育・研修を受ける機会にちがいがある |
| 3 性別により募集や採用にちがいがある | 9 その他(具体的に) |
| 4 女性は結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある | 10 性別でちがいがあると感じられることはない |
| 5 女性が育児・介護休業を取得しにくい雰囲気がある | 11 わからない |
| 6 男性が育児・介護休業を取得しにくい雰囲気がある | |

【問9で「2 仕事をしていない」と答えた方におたずねします】

問9-2 あなたがこの1か月間仕事をしなかった理由をお答えください。あてはまる番号すべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 高齢だから | 8 趣味や社会活動など他にやりたいことがあるから |
| 2 学生だから | 9 家事・育児と両立できないから |
| 3 求職活動中だから | 10 家族等の介護・看護と両立できないから |
| 4 希望や条件にあう仕事が見つからないから | 11 扶養家族のほうが有利だから |
| 5 働かなくても経済的に困らないから | 12 家族の転勤や転居があるから |
| 6 職業能力に自信が持てないから | 13 家族の理解が得られないから |
| 7 健康に自信が持てないから | 14 その他(具体的に) |

【すべての方におたずねします】

問10 あなたは、女性の望ましい働き方についてどうお考えですか。あてはまる番号1つに〇をつけてください。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける | |
| 2 結婚するまでは仕事を続け、結婚後は家事に専念する | |
| 3 子どもができるまでは仕事を続け、出産後は家事や子育てに専念する | |
| 4 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける | |
| 5 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける | |
| 6 その他(具体的に) | |
| 7 仕事に就かない方がいい | |
| 8 わからない | |

V ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についておたずねします

問 11 あなたの生活の中での、「仕事」「家庭生活」「個人の生活（地域活動、趣味・学習等）」の優先度について（1）あなたの理想に最も近い番号、（2）あなたの現状に最も近い番号1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	(1)理想 (○は1つ)	(2)現状 (○は1つ)
① 「仕事」を優先	1	1
② 「家庭生活」を優先	2	2
③ 「個人の生活」を優先	3	3
④ 「仕事」と「家庭生活」を優先	4	4
⑤ 「仕事」と「個人の生活」を優先	5	5
⑥ 「家庭生活」と「個人の生活」を優先	6	6
⑦ 「仕事」「家庭生活」「個人の生活」のすべて優先	7	7
⑧ わからない	8	8

問 12 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、小平市がどのような施策を講じることが効果的だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 保育所・介護施設などの環境を整えること 2 就労・再就職・起業に向けての支援をすること 3 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識を改める施策を実施すること 4 市民、事業者、社会へ向けて仕事も家庭も大切にするという意識を啓発すること 5 趣味や余暇を活かした活動や個人の能力を地域社会に貢献できるように支援すること 6 市民活動をしやすい環境を整えること 7 その他（具体的に 8 特にない 9 わからない |) |
|---|---|

問 13 育児休業の取得状況についておたずねします。
あなたに同居のお子さんはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

1 いる	2 いないが将来子どもを持ちたい (あなたやあなたの配偶者が妊娠中の方を含む)	3 いない
------	--	-------

【問 13-3にお進みください】

【問 14にお進みください】

【問 13で「1 いる」と答えた方におたずねします】

▶ 問 13-1 一番低年齢のお子さんはどの成長段階にあたりますか。(〇は1つ)

1 1歳未満 (令和元年9月2日以降生まれ)	2 1歳以上の未就学児 (平成26年4月2日から令和元年9月1日生まれ)	3 小学生	4 中学生	5 高校生以上
------------------------	--------------------------------------	-------	-------	---------

【問 13で「1 いる」と答えた方におたずねします】

▶ 問 13-2 あなたやあなたの配偶者が一番低年齢のお子さんを出産された時に、あなたは育児休業を取得しましたか。あてはまる番号1つに〇をつけてください。(〇は1つ)

1 取得した (する予定)	2 取得しなかった (しない) ⇒【問13-4にお進みください】
---------------	----------------------------------

【問 13で「2 いないが将来子どもを持ちたい」と答えた方におたずねします】

問 13-3 あなたやあなたの配偶者がこれから出産する場合、あなたは育児休業を取得しますか。また、これから子育てをされる方で、あなたやあなたの配偶者がこれから出産する場合、あなたは育児休業を取得しますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください。(〇は1つ)

1 取得する (予定)	2 取得しない	3 わからない
-------------	---------	---------

【問 13-4にお進みください】

【問 13-2で「2 取得しなかった (しない)」、問 13-3で「2 取得しない」と答えた方におたずねします】

問 13-4 あなたが、育児休業を取得しなかった (しない) 理由は次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

1 職場に迷惑がかかると思うから	7 収入が減少するから
2 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから	8 必要性を感じない
3 復帰後やっていけるかどうか不安であるため	9 その他 具体的に
4 元の仕事 (職場・ポジション) に復帰できるとは限らないから	[]
5 昇進・昇格に支障が出るから	
6 出産を機に退職した (する) から	10 特に理由はない

【すべての方におたずねします】

問 14 あなたは、育児休業をさらに取得しやすくしていくためには、どんなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1 事業主や上司の理解 | 7 代替職員の配置 |
| 2 職場内の理解を深めていくこと | 8 休業後、スムーズに保育所等に入所できる体制の整備 |
| 3 休業中の経済的支援 | 9 育児休業制度についての行政機関等の普及啓発 |
| 4 休業期間の延長 | 10 その他(具体的に) |
| 5 短時間勤務制度等、休業後に職場復帰しやすい体制の整備 | 11 特にない |
| 6 休業中の情報提供、職場復帰のための研修の実施 | 12 わからない |

問 15 介護休業の取得状況についておたずねします。

あなたは、これまでどなたかを介護されたことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1 介護したことがある | 2 介護したことはない ⇒【問16にお進みください】 |
|-------------|----------------------------|

【問 15で「1 介護したことがある」と答えた方におたずねします】

問 15-1 あなたが介護されていた方とはどのようなご関係にあたりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 父母 | 5 同居かつ扶養している、祖父母 |
| 2 配偶者の父母 | 6 同居かつ扶養している、兄弟姉妹 |
| 3 配偶者等(事実婚を含む) | 7 同居かつ扶養している、孫 |
| 4 子 | 8 その他(具体的に) |

【問 15-1で「1」から「7」と答えた方におたずねします】

問 15-2 あなたが介護していた(している)時期は次のどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 令和元年9月1日以降 | 2 令和元年8月31日以前 |
|--------------|---------------|

【問 15-1で「1」から「7」と答えた方におたずねします】

問 15-3 あなたは、介護休業を取得したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 介護休業を取得したことがある | 2 介護休業を取得したことがない |
|------------------|------------------|

【問 15-3で「2 介護休業を取得したことがない」と答えた方におたずねします】

問 15-4 あなたが介護休業を取得しなかった理由は次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1 そのような休業の制度がなかったから | 7 介護・看護を機に退職したから |
| 2 家庭内に介護をしてくれる人が別にいたから | 8 収入が減少するから |
| 3 職場に迷惑がかかると思うから | 9 必要性を感じない |
| 4 職場に介護休業を取りにくい雰囲気があったから | 10 休業の制度があることを知らなかったから |
| 5 元の仕事(職場・ポジション)に復帰できるとは限らないから | 11 制度はあったが、就労期間、就労時間が短いなど、介護休業の対象とならなかったから |
| 6 昇進・昇格に支障が出るから | 12 その他(具体的に) |
| | 13 特に理由はない |

Ⅵ 教育についておたずねします

【すべての方におたずねします】

問 16 学校（義務教育）で男女平等教育を進める上で、あなたが重要だと思うものは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 男女平等の意識を育てる授業を行う
- 2 性別に関わりなく個性を発揮し、能力と適正に合わせた生活指導や進路指導を行う
- 3 登場人物・役割など性別に偏りのない教科書や教材を選択する
- 4 発達段階に応じ、人権尊重の立場に立った性教育を実施する
- 5 教員が男女平等教育を推進するよう授業や取組を実施する
- 6 管理職（校長・副校長）に女性を増やす
- 7 児童・生徒が性暴力やセクシャル・ハラスメントをいつでも相談できる窓口を設置し、皆に周知できるような態勢をつくる
- 8 保護者に対し、男女平等教育の理解と協力を求める
- 9 どの授業も男女平等の視点をもって行う
- 10 その他（具体的に _____)
- 11 特に取り組む必要はない

Ⅶ 人権についておたずねします

問 17 あなたは過去5年間に、ハラスメントを受けた経験がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 パワー・ハラスメントを受けたことがある
- 2 セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある
- 3 マタニティ（パタニティ（※1））・ハラスメントを受けたことがある
- 4 モラル・ハラスメント（※2）を受けたことがある
- 5 ケア・ハラスメント（※3）を受けたことがある
- 6 性的マイノリティ(LGBT等)（※4）に関するハラスメントを受けたことがある
- 7 その他（具体的に)
- 8 自分は受けたことはないが、周囲に被害者がいる
- 9 自分も受けたことがないし、周囲にも被害者はいない

1から7に
○をされた
方は問20-1
もお答えくだ
さい

※1 育児休業制度などを利用しようとする男性社員への嫌がらせ・不当な扱い

※2 言葉・態度などによる精神的な暴力、嫌がらせ

※3 働きながら育児や介護を行う労働者に対して、育児や介護に関する制度の利用を妨害したり、嫌がらせを行うなどの行為。また、老人ホームなどの介護施設に従事する介護スタッフや在宅ヘルパーに身体的・精神的暴力、性的な嫌がらせなどを行うこと

※4 レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなど、性自認(自分が認識している性別)が生まれた時の身体的な性別と異なっていたり、性的指向(好きになる相手)が異性ではない人々のこと

問 18 あなたは、「デートDV」(※1) (交際相手からの暴力) について知っていますか。(○は1つ)

- 1 言葉も、その内容も知っている
- 2 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない
- 3 言葉があることを知らなかった

※1 交際相手からの暴力(デートDV)とは、結婚前の恋人間の暴力のこと

問 19 あなたは、次のようなことが配偶者や交際相手など親密な関係の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。①～⑩のそれぞれについて、あなたの考えに近い番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

		どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
身体的暴行	① 平手で打つ	1	2	3
	② なぐるふりをして、おどす	1	2	3
	③ 大声でどなる	1	2	3
心理的攻撃	④ 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3
	⑤ 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3
	⑥ 家族や友人との関わりを持たせない	1	2	3
経済的圧迫	⑦ 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
	⑧ 仕事に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3
性的強要	⑨ いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
	⑩ 避妊に協力しない	1	2	3

問 20 あなたは過去5年間に、配偶者や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。①～④のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

		何度もあった	1、2度あった	まったくない
①	身体的暴行 (例えば、なぐられたり、けられたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされたりするなどの身体に対する暴行)	1	2	3
②	心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視されたり、長期間の無視などの精神的嫌がらせ、あるいは、自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2	3
③	経済的圧迫 (例えば、生活費を渡してもらえない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど)	1	2	3
④	性的強要 (例えば、いやがっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	1	2	3

【問 17で「1～7のハラスメントを受けた」、問 20で①～④のうち1つでも「1 何度もあった」「2 1、2度あった」と答えた方におたずねします】

問 20-1 あなたはこれまでに、このような行為を受けたことを誰かに打ち明けたり、相談したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は1つ)

1 相談した

2 相談しなかった ⇒【問20-3へお進みください】

【問 20-1で「1 相談した」と答えた方におたずねします】

問 20-2 あなたはどこ(誰)に相談しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 家族・親族

5 公的な相談窓口・電話相談など

2 友人・知人

6 医師・カウンセラーなど

3 同じような経験をした人

7 市民活動団体など

4 家庭裁判所、弁護士、警察など

8 その他(具体的に)

【問 20-1で「2 相談しなかった」と答えた方におたずねします】

問 20-3 どこ(誰)にも相談しなかったのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 相談する人がいなかったから

2 どこに相談してよいのか分からなかったから

3 相談しても無駄だと思ったから

4 相談したことがわかると、仕返しを受けると思ったから

5 恥ずかしくて誰にも言えなかったから

6 自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから

7 自分にも落ち度があると思ったから

8 他人を巻き込みたくなかったから

9 相談するほどのことではないと思ったから

10 その他(具体的に)

【すべての方におたずねします】

問 21 配偶者や交際相手など、親密な関係にある者から暴力を受けた場合、相談できる機関や施設であなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 警察署(交番)

6 東京都女性相談センター(東京都福祉保健局)

2 小平市の市民無料相談

7 東京ウィメンズプラザ(女性用・男性用)

3 小平市女性相談室

8 その他(具体的に)

4 警視庁総合相談センター

9 相談できる機関・施設があることを知らなかった

5 配偶者暴力相談支援センター

問 22 あなたは、配偶者や交際相手などの暴力の防止や対策のために今後どのような事業が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 相談先や相談方法を記載したカードを、トイレなど、手にとりやすいところに配架し、気軽に相談できる案内を充実する
- 2 別居後の住民票や保険のプライバシー確保など被害者の安全を守る施策を充実する
- 3 被害の実態や被害者の支援策を市民に広く周知する
- 4 被害者支援に携わる人(警察、医師、相談機関の職員)の意識向上を図る
- 5 加害者に対する再発防止教育を周知する
- 6 若い世代に人権や男女平等に関する啓発を実施する
- 7 親しい間柄であっても暴力は人権侵害であるという意識の啓発をする
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

問 23 あなたは、性的マイノリティ(LGBT等)について知っていますか。(○は1つ)

- 1 言葉も、その内容も知っている
- 2 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない
- 3 言葉があることを知らなかった

問 24 あなたは、性的マイノリティ(LGBT等)の人権を守るために、どのような対策が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 理解を深めるための教育を学校で行う
- 2 相談・支援体制を充実させる
- 3 性的マイノリティの困難に配慮できるよう人々の意識に定着させる啓発を行政が行う
- 4 法律や制度を整備する
- 5 その他(具体的に)
- 6 わからない

Ⅷ 女性活躍推進についておたずねします

問 25 あなたは、政治や企業活動、地域活動など、あらゆる分野において、政策や方針の決定過程に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 男性優位の組織運営であるから
- 2 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないから
- 3 性別による役割分担や性差別の意識があるから
- 4 女性側の積極性が十分ではないから
- 5 家庭の支援・協力が得られないから
- 6 女性の活動を支援するサポート体制が整っていないから
- 7 女性の能力開発の機会が不十分であるから
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

Ⅸ 小平市の男女共同参画に関する施策についておたずねします

問 26 あなたは、小平市で取り組んでいる下記にあげる男女共同参画施策を知っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1 小平市男女共同参画推進条例 | 7 広報誌「ひらく」 |
| 2 小平市男女共同参画推進計画—小平アクティブプラン21 | 8 女(ひと)と男(ひと)のフォーラム |
| 3 小平市男女共同参画センター“ひらく” | 9 小平市男女共同参画推進講座 |
| 4 女性相談室 | 10 小平市男女共同参画推進審議会 |
| 5 ひとり親相談 | 11 小平市男女共同参画推進実行委員会 |
| 6 子ども家庭支援センター | 12 いずれも知らない |

問 27 あなたは、男女共同参画社会を推進するため、今後、小平市ではどのようなことに力をいれるべきだと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1 男女共同参画社会を推進するための講演会・講座の充実 | |
| 2 男性の家事・育児・介護への参画促進 | |
| 3 女性のための相談事業の充実 | |
| 4 子育て支援の充実 | |
| 5 高齢者支援、障がい者支援の充実 | |
| 6 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(※1)の普及 | |
| 7 性・年代別のニーズに応じた健康支援の充実 | |
| 8 女性の就労・起業についての支援策 | |
| 9 男女ともに働く環境の改善、整備 | |
| 10 男女共同参画センター“ひらく”の充実 | |
| 11 DV(ドメスティック・バイオレンス)など、あらゆる暴力被害者支援の充実 | |
| 12 地域活動における男女共同参画の促進 | |
| 13 学校教育での男女平等教育の実施 | |
| 14 意思決定の場(審議会・委員会)への女性の参画促進 | |
| 15 子どもの虐待防止対策 | |
| 16 性的マイノリティへの理解促進 | |
| 17 その他(具体的に |) |
| 18 特にない | |
| 19 わからない | |

※1 身体的・精神的・社会的な健康を維持し、子どもを産むかどうか、いつ産むか、どれくらいの間隔で産むかなどについて選択し、自ら決定する権利のこと

X 最後に、あなたご自身についておたずねします

※これまでお答えいただいたことを統計的に集計・分析するために用います。
個人を特定した分析は行いませんので、ご安心ください。

F1 あなたの性別（○は1つ）

（※生まれた時の身体的な性別ではなく、ご自身の認識している性をお答えください）

- | | | | |
|------|------|-------|-----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 | 4 回答したくない |
|------|------|-------|-----------|

F2 あなたの年齢（○は1つ）

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1 18～24歳 | 4 35～39歳 | 7 50～54歳 | 10 65～69歳 |
| 2 25～29歳 | 5 40～44歳 | 8 55～59歳 | 11 70～74歳 |
| 3 30～34歳 | 6 45～49歳 | 9 60～64歳 | 12 75歳以上 |

F3 あなたの職業（○は1つ）

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1 自営業主（自由業含む） | 8 派遣社員（登録派遣）、契約社員、
会計年度任用職員 |
| 2 家族従業者 | 9 在宅勤務・内職 |
| 3 会社などの役員 | 10 家事専業（主婦・主夫） |
| 4 正規従業員（従業員100人以下の民間事業所） | 11 学生 |
| 5 正規従業員（従業員101人以上の民間事業所） | 12 無職 |
| 6 正規職員（公的機関） | |
| 7 パート・アルバイト | |

【F3で「1」～「9」（働いている）と答えた方におたずねします】

F3-1 あなたの勤務地（○は1つ）

- | | | | |
|--------|--------|------------|---|
| 1 小平市内 | 2 小平市外 | 3 その他（具体的に | ） |
|--------|--------|------------|---|

【すべての方におたずねします】

F4 あなたの結婚の状況（○は1つ）

- | | | | |
|--------------|------|------|------|
| 1 既婚（事実婚を含む） | 2 離別 | 3 死別 | 4 未婚 |
|--------------|------|------|------|

【F4で「1 既婚（事実婚を含む）」「2 離別」「3 死別」と答えた方におたずねします】

F4-1 あなたは結婚、出産・育児を機会に退職をした経験がありますか。（○は1つ）

- | | | |
|------------|----------------|------|
| 1 ある（結婚退職） | 2 ある（出産・育児で退職） | 3 ない |
|------------|----------------|------|

【F4で「1 既婚（事実婚を含む）」と答えた方におたずねします】

F4-2 あなたの世帯の働き方は次のうちのどれですか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 夫婦が共に働いている | 3 夫だけが働いている |
| 2 妻だけが働いている | 4 夫婦共に働いていない |

【すべての方におたずねします】

F5 現在、生計をともにしている同居家族について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

1 本人のみ	5 祖父母
2 配偶者（パートナーも含む）	6 兄弟姉妹
3 親（実親・義親）	7 その他の親族
4 子ども	8 その他（具体的に)

F6 あなたのお住まいの地域をお答えください。

※町丁目までお答えください。例：小川町2丁目

_____ 町 丁目

★ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。



質問は以上です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかどうか、もう1度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手をはらずに**9月28日（月）**までにポストへ投函してください。